

令和5年度評価結果の反映状況

評価結果	業務運営の改善への反映状況	備 考 業務実績報告書 項目別実績番号
1. 中期目標で示した、各病院における病床稼働率の目標値を達成するため、病床の適正管理に努められたい。	<p>令和6年度は、各病院ともに依然 SARS-CoV-2（以下「新型コロナウイルス」という。）感染症の影響を受けつつも、徐々に回復してきている。</p> <p>総合病院では令和5年5月8日以降、一般病床にて新型コロナウイルス感染症患者を受け入れているため、令和6年9月現在の一般病床稼働率は87.8%となり、目標値（90%以上）を下回っているが、重症感染症患者を多く受入れ、地域医療の維持に大きく貢献した。</p> <p>こころの医療センターでは、積極的に患者を受け入れ、令和6年9月現在の病床稼働率は88.3%と目標値（85.0%以上）を上回っている。</p> <p>こども病院の令和6年度9月末の病床稼働率は76.3%と、目標値である75.0%を上回っている。新規入院患者数及び入院延患者数が増加している一方で、平均在院日数は短縮しており、効率的な医療提供の推進が図られている。</p> <p>今後、各病院とも院内感染対策を取りつつ、効率的な病床運営による平均在院日数の適正管理に努めるほか、近隣医療機関と連携して紹介率、逆紹介率を向上させることなどにより、病床稼働率の向上を図っていく。</p>	40、50、60
2. こころの医療センターにおいては、リハビリテーション（デイケア）の利用者増加に向けて、活動再開に伴う調整など継続的に取り組まれたい。	<p>令和6年度から発達障害など利用者の新たな需要に対応するプログラムを作成したことに加え、従来から行っているポスター掲示やパンフレットの配架等の広報活動を行い、利用の増加に努めている。</p> <p>また、国が示す精神疾患を有する者の地域移行・地域定着に向けた重点的な支援を実施するため、在宅においてよりの確な支援を行うべく、訪問看護の積極的な実施にも努めている。</p>	18

<p>3. 経常収支については、今後の人口減少・少子高齢化の進行や患者の受療行動の変化など、地域における将来の医療需要を見据え、病院機構全体での課題を検討するなど、業務運営の改善・効率化を一層進められたい。</p>	<p>機構本部では、毎月、3病院の月次決算資料を作成し、前年同月実績値との比較による経費の増減分析等を行い、理事会で報告している。</p> <p>令和5年度末に新設した経営戦略会議には3病院及び本部事務部門の幹部職員が参加し、機構内における様々な課題への対応や経営改善に向けた取り組み等について議論している。同会議を中心に、各病院における経営に関する進捗管理を行いながら着実な課題の解決を図ることとしている。</p> <p>今後、第4期中期計画期間累計で経常収支比率100%以上を達成するため、以下の経営改善策に重点的に取り組む。</p> <p>○機構全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療材料の共同購入、薬品の価格交渉、棚卸減耗の削減の徹底により、材料費の抑制に努める。 ・他病院との経営指標の比較や経営改善に関する取組等の情報交換を積極的に行う。 <p>○総合病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機構内の配置見直しを含めた医師・看護師等の安定的な確保により、病棟の休床解消や手術件数の増加による入院収益の獲得に努める。 ・平均在院日数の短縮に取り組み、DPC入院期間Ⅱ以内での退院を促進することにより、効率的な病棟運営を行う。 <p>○こころの医療センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な精神疾患に対応するため、病棟の個室化及び休床病床の活用を推進する。 ・老年期こころと物忘れ外来、おとなの発達障害、クロザピン相談等、医療ニーズの拡大を踏まえた専門外来の開設により、新規患者の獲得に努める。 <p>○こども病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹部職員が県内医療機関を訪問し、こども病院の診療体制を改めて広報することにより、患者の集約化を図る。 ・病棟再編成による病棟単位の縮減を行い、診療報酬の効率的な算定と看護師の配置見直しを促進する。 ・日帰り手術や外泊等の運用見直しにより、入院収益の増加に努める。 	<p>118</p>
---	--	------------